

これまでの国の答申

- 難解な、いわゆる役所言葉の羅列
- 役所からの視点中心の施策の列挙
= 生活者の視点が不十分
- 具体的な目的や成果・アウトカム目標が明示されないままの方針
- 誰が何をすべきか役割分担が不明確
etc.....

その結果

本来、地域の生活者のための答申であるべきものが、「とっつきにくく」「わかりにくい」として限られた関係者を除けば関心が薄い。役所の独り善がりの報告書として受け取られ、「地域密着型の行政」を展開していく上でも大きなマイナス！

このような現状を踏まえ、
以下のような変革が必要！

これからの国の答申

考え方の3原則

生活者の視点中心

誰もが手に取り関心が持てる

目的/成果・アウトカム/責任主体が明確

その結果

- 地域の生活者誰もが問題に対しての関心を持ち、自ら考え行動に移していくことができるための「**指針**」たる答申
- 国・地方公共団体・交通事業者等が自らの役割分担に基づき生活者とともに問題を解決していくための施策方針を明確にする「**施政方針**」たる答申

これまでの審議等の流れと答申の構成イメージ（案）

審議に係る9つの視点の設定

（第1回審議会）

北陸信越地域の交通に係る現状診断

（第2回審議会）

2つの命題と3つのテーマの設定

（第3回審議会）

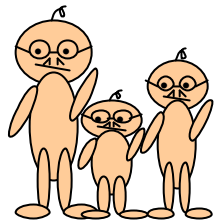
第1回パブリックコメント
H16.1~H16.3末

第2回パブリックコメント
H16.6~H16.8末まで（予定）

答

申

1．未来の日記



- この地域に暮らす登場人物を設定します。

- 彼らの行動により、現在と将来の公共交通を取り巻く環境とその変化を描いていきます。

別紙

2．取組むべき施策

- 1．未来の日記で描かれた、将来の公共交通を取り巻く環境の変化を実現するために、行政や交通事業者等の関係者が取組むべき施策について、解説します。



別紙

3．要旨



- 1．未来の日記や2．取組むべき施策についての概要を記述するとともに、この地域の概況や経済社会の動静等も記述していきます。

未来の日記と取り組むべき施策のイメージ(案)

資料1 (別紙)

現在の公共交通を取り巻く環境

主人公(A世帯)を中心とする登場人物(B、C、D、Eの各世帯)の様々な日常生活等の行動を通じて、現在(=答申時期)における北陸信越地域の公共交通を取り巻く環境を、「2つの命題と3つのテーマ」の区分(注)に沿って、『現在の日記』として記述する。(=答申時期における現状・課題の記述)

この場合において、この『日記風』に記述された公共交通を取り巻く環境については、トピック項目を選び、図や写真、グラフ等を盛り込みながら別掲の形式でわかり易い説明書を付記する。

将来の公共交通を取り巻く環境の変化

転勤のため東京へ引越す主人公(A世帯)が、再び10年後頃(=答申の目標時期)にこの地域に戻ってきたという前提で、と同様に各世帯の様々な日常生活等の行動を通じて、で記述された公共交通を取り巻く環境がどのように変化し又は改善しているのかについて、「2つの命題と3テーマ」の区分(注)に沿って、『未来の日記』として記述する。(=答申の目標時期におけるあるべき姿の記述)

この場合において、この『未来日記』に記述された変化及び改善等については、トピック項目を選び、図や写真、グラフ等を盛り込みながら別掲の形式でわかり易い説明書を付記する。

取り組むべき施策

において将来の公共交通を取り巻く環境の変化を実現するために、国をはじめ地方公共団体や交通事業者、あるいは、この地域に暮らす方々などの各主体が実施すべき施策等について記述する。特に、国及び地方公共団体に係る当該施策等についての記述については、原則として、現在既に取り組んでいる施策を中心として、その施策の実施主体や目的、成果/アウトカム目標をできる限り具体的に記述することとする。さらに、その実現のため、現行の法体系や予算システム等を見直すことが望ましいと認められるものについては、この審議会からの「提言」という形で取りまとめることとする。
(=あるべき姿の実現に向けた関係機関の取り組み施策等の記述)

未来の日記に設定する登場人物(案)

B世帯：石川県 中山間地域等在住

主人公の父(67)

主人公の母(65)

D世帯：長野県 長野市在住

主人公の妻の父(65)

主人公の妻の母(63)

妻(42)

主人公の兄(43)

主人公(41)

主人公の妻(40)

主人公の妻の妹(37)

夫(39)

子供(14,13)

主人公の息子(13)

主人公の娘(9)

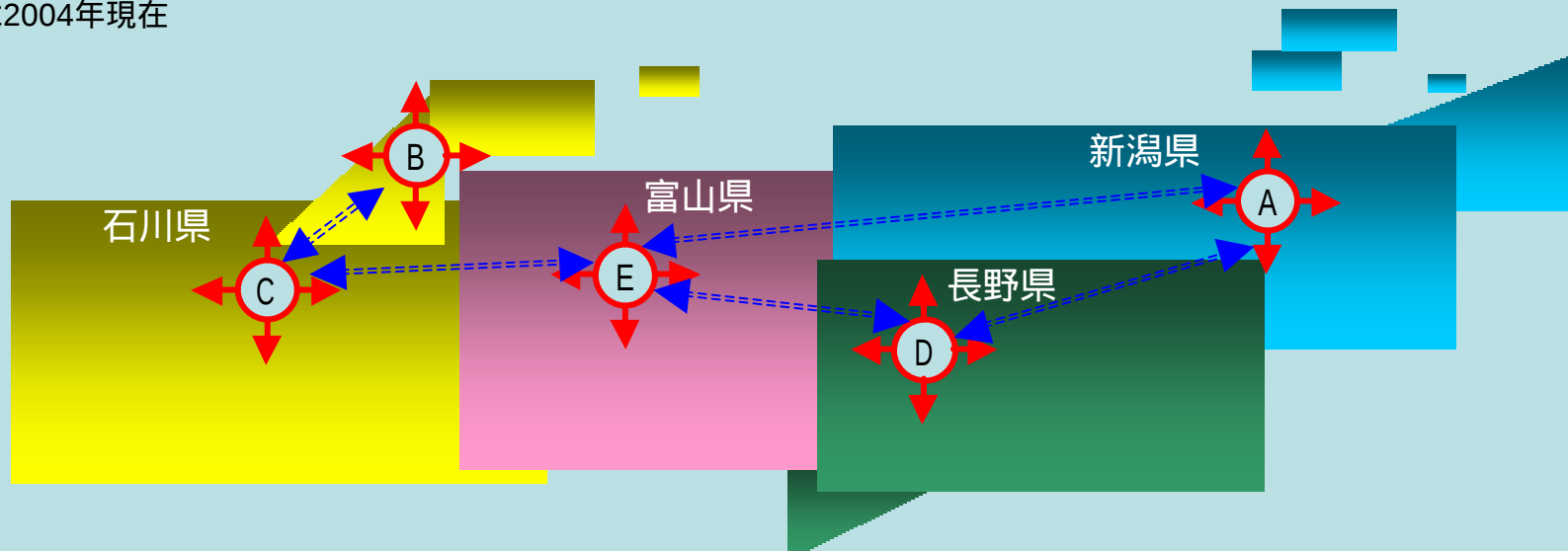
子供(8,6)

C世帯：石川県 金沢市在住

A世帯：新潟県 新潟市在住

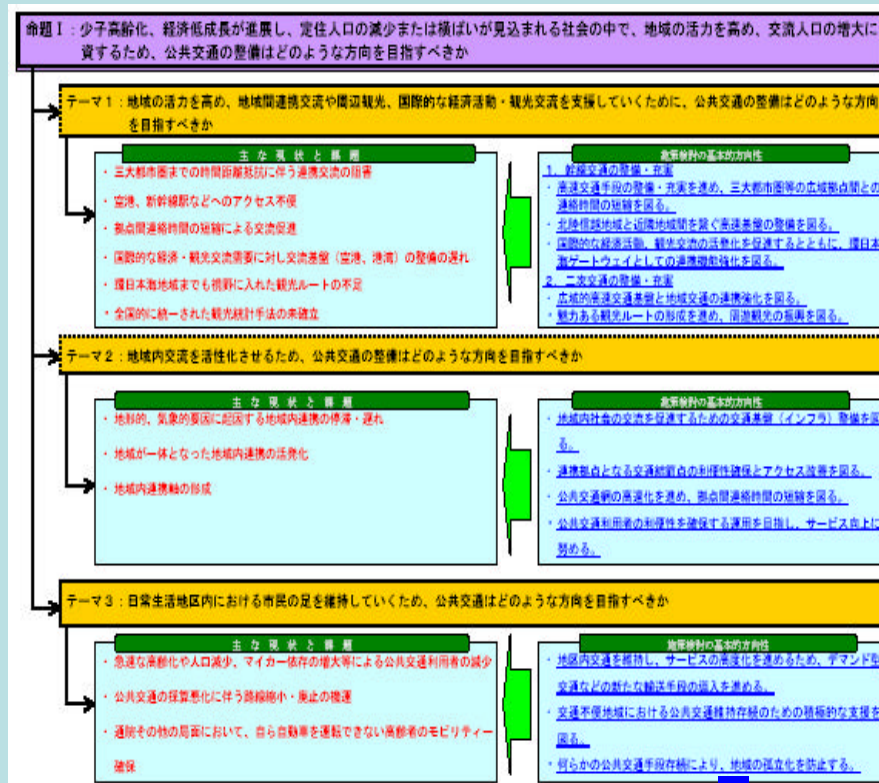
E世帯：富山県 富山市在住

年齢は2004年現在



2つの命題及び3つのテーマと「現在の日記」及び「未来の日記」の関係

命題



命題Ⅰ及び命題Ⅱにおけるテーマ1から3の「主な現状と課題」の事項を、それぞれ「現在の日記」のテーマとして記述していく。1つのテーマについて、2、3のシチュエーションを設定して描いていく。

命題



命題Ⅰ及び命題Ⅱにおけるテーマ1から3の「施策検討の基本的方向性」を、それぞれ「未来の日記」として記述していく。1つのテーマについて、2、3のシチュエーションを設定して描いていく。

具体的なイメージ(案)

例：命題 のテーマ2

『現在の日記』

命題 テーマ2の区分に沿って北陸信越地域の公共交通を取り巻く環境について、現状や問題点などを浮き彫りにしながら、「生活者」の視点で記述していくこととする。また、下線部分をトピックとして選らんでみる。

(例)

...バスも渋滞の中を走らなければいけないから、どうしても時刻表どおりに進めなくなるのね。...

下の写真のような図表を用いて右の日記の事項について、分かり易く解説をしていく。



『未来の日記』

『現在の日記』と同様に記述していくこととする。また、下線部分をトピックとして選んでみる。

(例)

...バス専用レーンのカラー舗装がされたり、路上駐車取締りがずいぶん厳しくなったということも影響しているのしょうけど...

下の写真のような図表を用いて右の日記の事項について、分かり易く解説をしていく。



この部分に、「2004年現在の交通の現状」から「2014年現在の交通のあるべき姿」へ変化し、改善するために、国や地方公共団体等が実施すべき施策等について、目的/成果（アウトカム目標）等を明示しながら、図表を用いて記述していくこととする。

(例)

施策1：バス監視カメラシステムについて

【目的】...

【成果（アウトカム目標）】

2014年までに専用レーン又は優先レーンを走行する路線バスの平均走行時速を〇〇km毎時に上昇させる。



専用/優先レーン走行路線バスへの監視カメラシステムの導入